

「節目となる新しい年を迎えて」

校長 福山 育男

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りましたこと深く感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年末年始は晴れの日が続き、穏やかな年越し、そして新しい2025年を迎えることができました。今年は吉川町と合併して20年、昭和100年、戦後80年と様々な節目と言われています。充実した1年へのスタートとしたいと思います。

私事で恐縮ですが、私は趣味がバイクツーリングで以前はよく遠くへ出かけていたものでした。右の写真は、雨の中、急に目の前に数多くの鮮やかな鯉のぼりが現れ、その美しさに思わず写真を撮ったものです。雨が降っているのを忘れるほど晴れやかな気分になったのを覚えています。地図を見ると能登半島の先にある珠洲市とありました。珠洲市の名を私にもう一度思い起させたのは昨年の元日の能登地方の地震でした。そして、その後、9月の水害のために再び大きな被害が出て、現在も復興にはほど遠いということに本当に心が痛みます。早く産業や生活の基盤が安定し、もう一度あの美しい鯉のぼりが泳ぐ平穏な生活が取り戻せることを願わずにはられません。



2019年5月1日 珠洲市大谷川にて

そして、阪神・淡路大震災も今年で節目の30年を迎えます。私たちも震災の経験や教訓を未来へ継承する取組を進めていかななくてはならないと強く感じています。3学期の始業式ではこのことも踏まえ、防災について話をしました。避難訓練や避難場所の確認、防災用具の点検の大切さの他に「普段でもできること」について話をしました。阪神・淡路大震災の際に私が支援に行った避難所は、避難された方が自治運営されていて何もありませんでした。このようにそれぞれの役割を担って自主的な活動を行ったり、互いに助け合ったりすることによって、長期化する「被災後」の生活の課題を解決することにつながるかもしれません。これは、我々も普段の生活の中で学んでいけることだと思います。



今年最初の一斉下校

まとめの3学期となりました。今学期は志染っ子フェスティバルや卒業式などの大きな行事も控えています。そのなかで、子どもたちは毎日の勉強に励み、それぞれの学年が次の学年に進む準備もしていきます。6年生は小学校を卒業して中学校での勉強が待っています。そのために今を大切に、小学校での最後の学期を充実させ4月からの中学校生活につなげてほしいと思います。今後も子どもたちの健康・安全を優先に教育活動を進めて参りますので、本校教育の推進にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。